

式 辞

本日はご多忙の中を杉野学園創立百周年の記念式典にご出席賜りまして、誠に有難うございます。学校法人杉野学園を代表いたしまして、本日の式典に当たり、学園の近年の活動と当面する課題について、改めてこれを確認するとともに、学園の構成員である教職員がさらに先の未来に向って、どのような心構えで臨まなければならないか、その思いの一端を申し述べさせていただきます。

昭和時代の 63 年間とそれに続く平成、令和の時代にわたる杉野学園の歴史は、現在のドレスメーカー学院の大正 15 年（昭和元年）からの百年の歴史ですが、それと共にドレスメーカー学院の教育の成果をさらに発展させるために昭和 25 年に発足した現行の学校教育法に基づく杉野学園女子短期大学、昭和 39 年に杉野学園女子大学の設立が行われています。

杉野服飾大学は、平成 14 年度に女子大学家政学部被服学科から男女共学の服飾大学服飾学科へ改組しました。

服飾学科はモードクリエーション、先端ファッション表現、感性産業デザイン、アートグラフィックデザイン、ファッション文化論の 5 つのコースが置かれていましたが、翌 15 年度にファッションビジネス・マネジメントコースが増設されました。ファッションビジネス・マネジメントコースは設立当初から産学連携教育に力を注いできました。このコースやその後に設置されたファッションプロダクトデザインコースは多数の企業と連携教育の協定を結んで産学連携教育を推進しています。

大学の改組の時期には、大学の教育の目的を服飾に関する専門職業人の養成とすることが示されていました。改組転換後の大学においても、自己点検評価委員会の検討の中でこの目的が明確化され、これに沿って大学の組織の改組、新設が進められました。

平成 27 年度にはデジタル化の進行や SDG s に対応するビジネスの構築を荷う人材の養成を目的としたファッションビジネス・流通イノベーションコースを服飾学科の中に新設しましたが、これに続いて、平成 30 年度には服飾表現に関する教育研究を総合的に行う組織として服飾表現学科を新設し、令和 5 年度には服飾文化に関する教育研究を総合的に行う組織として服飾文化学科を新設しました。いずれも日本の高等教育機関では初めての教育組織です。さらに日本の服飾産業の構造転換を図るための有力な手段とされている 3D デジタルモデリングを開発する人材育成を目的として、令和 4 年度に大学院造形研究科に 3D デジタルモデリングコースを新設し、その教育研究の実践を基盤として、令和 6 年度に服飾学科のモードクリエーションコースとインダストリアルパターンコースでの 3D デジタルモデリングのカリキュラムを開設しました。

杉野服飾大学は既存の大学教育の枠組みにとらわれることなく、産業界の動向に向き合

って実践的な教育を築き上げてきましたが、現在では産業界の課題に取り組む教育を推進することを目指す大学となっています。具体的には、アパレル DX に対応できるファッションデジタルに特化した人材など、服飾分野における SDG s と DX 化の推進による新しい付加価値の創造と服飾産業の構造転換、課題解決を主導する人材を育成することが本学の新たなミッションであると考えます。

少子化を生き抜くために、杉野服飾大学は服飾に関する単科の総合大学として、服飾産業界の課題に共に取り組む大学教育を構築しています。

ドレスメーカー学院は平成 29 年に文部科学省による「職業実践専門課程」の認定を受けています。専門学校（専修学校専門課程）における「職業実践専門課程」制度は平成 26 年に文部科学省により創設されました。「職業実践専門課程」とは、「企業等との密接な連携により、最新の実務の知識等を身につけられるよう教育課程を編成し、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組む専門課程」であり、文部科学大臣が認定するものであります。職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するための職業教育の水準の維持向上を図ることを目的として制度が発足しました。この認定を受けるには数々の認定要件が求められます。

ドレスメーカー学院では、平成 29 年に高度アパレル専門科とアパレル技術科が「職業実践専門課程」の認定を受け、翌平成 30 年には、服飾造形科とファッションビジネス科が同課程の認定を受けました。

この認定を受ける以前より、ドレスメーカー学院では産学連携に積極的に取り組んできた実践教育の実績を持ち、企業との密接な連携をもってカリキュラムを組んできました。その教育はファッション業界の各方面への就職に繋がり、成果をあげています。

ドレスメーカー学院では、このように築き上げられた職業実践専門課程としての教育を発展させ、服飾業界の期待にこたえていくこととなります。

ご挨拶の最後となりましたが、百周年にあたって、杉野学園の服飾教育の将来を構築するための一助として「杉野学園服飾教育の 100 年」を刊行する計画で、先生方に準備を進めていただいていたのですが、祝賀会場の改築の都合で、式典と祝賀会の日程が 2 月ほど早まったために、残念ながら本日お渡しできなくなりました。後日発刊となりました際、今日ご出席いただきました皆様に郵送でお届けさせていただくこととしておりますことをご了承ください。

令和 7 年 9 月 21 日

学校法人杉野学園理事長

中 村 賢 二 郎